

# あびらの未来を、みんなで考える。

## 新しい総合計画づくりが始まっています

「総合計画」は、町の未来のかたちを決める大切な計画です。

現在、平成29年度から始まった第2次総合計画に基づき、令和8年度までの10年間で、さまざまな取り組みが進められています。

この計画は、教育や子育て、人づくりやコミュニティづくり、経済や産業、健康や福祉、生活環境や生活基盤など、安平町に関わるあらゆる分野の「方向性」を示す「まちづくりの設計図」であり、将来の「ありたい姿」を出発点として定め、そこに向かうための道筋が段階的に描かれていきます。

本ページでは、計画に関するお知らせや令和9年度からスタートする「第3次総合計画」の策定へ向けた町の取り組みなどについてお知らせします。

### 前回のおさらい

令和8年の広報あびら3月号から引き続き、令和7年7月から8月にかけて実施した「安平町まちづくり町民アンケート」の結果についてお伝えしました。

回答者の皆さんが望む「今後の安平町に求めるまちづくりの特色」についてお伺いし、「子どもの元気な声が響く、地域みんなではぐくむ子育て・教育のまち」が約40%、「自然と暮らしが調和する、ほどよい田舎で生活基盤が整った安心・安全のまち」が約50%という結果となっています。

### 今回のおはなし

引き続き「安平町まちづくり町民アンケート」の結果についてお知らせします。

今回はアンケート最後の項目「自由記載」です。率直で幅広いご意見を158件いただきました。皆さんからのお声をそのまま掲載するのではなく、内容の趣旨を踏まえながら共通する論点ごとに整理し、全体像として分かるよう再構成しています。なお、広く町民の皆さんへお知らせするため、配慮が必要な表現は調整を行っています。

## 結果の続き

### 【自由記載】

2035年頃の安平町の「望ましい姿」「目指すべき姿」「進むべき方向性」などについて、ご意見、ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

### まちづくり全般

#### 【政策的提案】

#### ■全般的取り組みの方向性

- ・移住者や新規の事業に対してだけでなく、既存住民にも実感できる取組の充実と見える化
- ・移住PRよりも、まずは今住む町民の満足度を高めるという考え方
- ・人口減少を前提に、これまでと異なるやり方へ転換していく姿勢

#### ■人口、産業、定住の方向性

- ・立地の強み（千歳、苫小牧、札幌への近さ）を活かした企業誘致、人口増、産業振興
- ・外部環境の変化（例：半導体関連の動きなど）を、地域の機会として活用
- ・移住PRの強化と移住→定住→永住につながる産業、交通、生活基盤の整備

#### ■暮らしの安心基盤（医療、福祉、交通など）

- ・医療、福祉の方向性を分かりやすく示し、全世代が住み続けたいと思える体制へ
- ・健康で長生きするための介護予防を充実し、教育と併せて“まちの両輪”として位置づける
- ・若い世代が住みやすく、生活しやすい環境整備を進める